Campus Mail

For all the students

FIT Fukuoka Institute of Technology 福岡工業大学
この件のお問い合わせは広報課へ
TEL ：092-606-0607
MAIL：kouhou@fit.ac.jp

掲示期間 2026-159
11 月 12 日～12 月 2 日

大学院　システムマネジメント専攻　前原　研究室

2026 年画像関連学会　第 12 回合同秋季大会
「最優秀ポスター発表賞」受賞

2026 年 10 月 26 日（月）～27 日（火）に名古屋大学とオンラインのハイブリッドにて開催された「2026 年度画像関連学会　第 12 回合同秋季大会」において、システムマネジメント専攻 2 年　前原研究室の力丸真衣さんの研究発表が「最優秀ポスター賞」を受賞しました。
この学会は画像技術や関連分野の学術交流と発展を目的として開催された、国内主要 4 学会（日本印刷学会、日本画像学会、日本写真学会、画像電子学会）による合同学術大会で、ポスター発表は 4 学会が一同に会して実施されました。受賞した研究のタイトルは「立体視映像に連動して遠近合焦像を提示するデバイスの改良と検証」 です。VR が視力回復に良い影響を与える可能性に着目し、レンズの組み合わせを用いて 3D 映像を提示する装置を開発、改良した研究が高く評価されました。



大学院　工学研究科　システムマネジメント専攻 2 年　前原研究室
力丸　真衣　さん（福岡大学附属大濠高校出身）

「立体視映像に連動して遠近合焦像を提示するデバイスの改良と検証」

近年、若年層の視力低下が社会的な課題となる一方で、VR（Virtual Reality）技術はゲームや医療、教育など幅広い分野で活用されています。こうした背景のもと、本研究では VR を活用した視力回復手法の実現を目指し、レンズの組み合わせによって眼の調節機能を誘発する装置を開発しました。さらに、本研究ではその装置を両眼用に改良しました。
装置設計では、光線追跡シミュレーションを用いて目標とする像距離を実現するためのレンズの組み合わせや移動距離を最適化し、映像と連動して遠近の合焦像を提示できる仕組みを構築しました。開発した装置の有効性を検証するため、男女 12 名を対象に実験を実施した結果、右眼では 12 名中 9 名、左眼では 12 名中 7 名に視力向上が確認されました。この結果から、立体視映像と連動した像距離の変化が眼の調節機能を刺激し、視機能の改善につながる可能性が示されました。
今後は、レンズの種類や移動距離などの条件をさらに検討するとともに、被験者数を増やした評価実験を行い、本手法の有効性を検証していきます。将来的には VR ヘッドセットへの実装を目指し、視力回復や視機能維持への応用につなげることが期待されます



装置の構成